



*special prayer focus*

## シャヴオット(七週の祭り、五旬節)

### レビ記23章

■シャヴオットは、七週の祭り、ペンテコステ(五旬節)という名でも知られている。この祭りは、すべてのユダヤ人男性がお祝いをしにエルサレムに上らなければならないという、聖書暦の中で2番目に大きな祭りである。この祝日は「初穂の祭り」と呼ばれることもあるが、これは少し不適切である。聖書のレビ記23章によると、本当の初穂の祭りは、過越の週の間に行われ、その際、大麦の収穫である初穂の束を神殿にもっていく。そして、この日から満七週間、あるいは五十日を数えて(これを「オメールの時期を数える」という。「オメール」は「束」の意)、パン種を入れたパン2個といっしょに、今度は、小麦の収穫物で初穂の奉献物を捧げる。つまり、最初の初穂は過越祭の間に捧げられ、そして後の初穂は、シャヴオットの時期に捧げられるということになる。

■今日ユダヤ人の間で行われるシャヴオットは、さらに意味深いものになっている。ラビたちの計算によると、モーセの律法(トーラー)は、最初の過越の後のシャヴオットの時に、シナイ山で与えられたという。したがって、この日は春の収穫と共に、トーラーが与えられたことを祝う日でもある。ユダヤ教会堂は通常、緑や花々で飾られる。この日の聖書朗読は、出エジプト記19章から20章までの、ユダヤ人の召しとトーラーの授与についての箇所と、エゼキエル書1章の、預言者が見た神の栄光の幻、という箇所であろう。それからルツの話も、春の収穫期にあったことなので、ルツ記の巻物が読まれるだろう。また、この日には、乳製品を使った特別な料理がよく出される。この日は、トーラーが最初に与えられたことと深く関連しているので、信心深いユダヤ人は、よくこの祝日の前夜にトーラーを読み通すのである。

■過越の祭りと同様、シャヴオットと新約聖書における出来事との関連性は、非常に興味深いものがある。初期の信徒たちに聖霊が降り注がれたのは、この日である。神がシナイ山でイスラエルの民に召しと使命を与えたとするならば、新約聖書のこの出来事によって、それはほぼ成就されたということになる。イスラエルの使命は、諸国のための祭司の国になる、ということだからである。

■思い出していただきたい。主イエスは昇天する直前に、ユダヤ人の弟子にこのように言われたことを。「聖霊があなたがたの上に臨まれるとき、あなたがたは力を受けます。そして、エルサレム、ユダヤとサマリヤの全土、および地の果てにまで、わたしの証人となります。(使徒1:8)」聖霊が降臨すると、ペテロは世界中から訪れているユダヤ人に福音を伝え始めた。預言者エレミヤとエゼキエルをとおした新しい契約の中には、神の律法は神の民の心に移され、そして彼らは御霊に満たされる、ということが書かれていた。したがって、新約における聖霊の降り注ぎは、シナイ山でユダヤ人に与えられた使命と約束が果たされた、ということなのである。主イエスの復活は、すなわち最初の初穂の捧げ物の成就であり、そして御霊の降り注ぎは、後の初穂の捧げ物の成就となるのである。





## 祈りの課題

☆世界中のユダヤ人の上に、新たに神の霊が降り注がれるように。

☆ユダヤ人の持つ熱意が、神に対する熱心さに変わるように。

☆彼らがトーラーを学ぶ時に、聖書で言う「肉となったトーラー(みことば)」という方を見いだすことができるように。

☆ユダヤ人が、神の内にある本当の召しと定めを目覚めるように。

